

第56号 2008.4.28
高知県立幡多けんみん病院発行
〒788-0785
宿毛市山奈町芳奈3番地1
TEL (0880)66-2222(代)
<http://www.pref.kochi.jp/~hata>

病院ニュース

News Letter

平成二十年度のはじめに

院長 山下邦康

平成二十年度が始まりました。この春高知大学医学部を卒業し、これから当院で二年間の研修を行なう三名のフレッシュな研修医の先生方や、看護学校を卒業したばかりの新人看護師など、若くてやる気のある皆さんが加わり、幡多けんみん病院もさらに元気な病院になってきたような気になります。

その他にも医師の交代も少しありましたが、幸い高知大学医学部の協力により、交代した後は適切に代わりの先生が赴任していただくことが出来ています。今、全国で勤務医師が足りなくなっており、あちこちの地方の公立病院で診療科の閉鎖などの問題が起きていますが、当院では高知大のご理解とやる気のある医師の皆さんのおかげで何とか、幡多の医療を守る体制を整えることが出来ています。また当院で卒後研修を行なっ

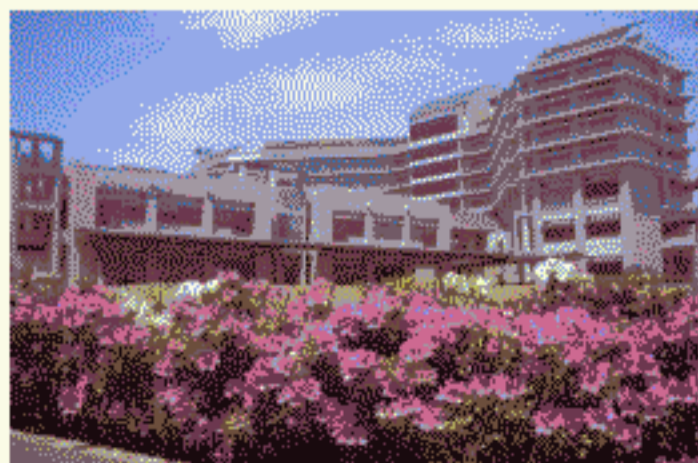
ている今年の研修医の先生方は合計六名となりましたが、この様な田舎で若い先生方が頑張って研修している姿は、これからの地域医療の将来への希望を持たせてくれます。患者さんの皆さんもぜひ暖かく迎えていただき、一緒に育てていただきたいと思います。

現在わが国では、少子高齢化が進む中、医療が崩壊しかけています。救急医療や産科、小児科が報道などで問題になっていますが、それ以外の診療科でも危ない状態です。当院でも諸般の事情で救急車の搬入が増えています。それが、それに対応すべく医師を増員しようとしても、大学でも医師は不足していて、派遣人数を増やしていただくのは、とても困難な状況です。もともと幡多地域のような田舎では医師確保はたやすくはありませんでしたが、最近は研修制度の変更などでさらに困難になったのが実情です。そういう状況の中で、この幡多地域に来ていただき、少ない医師の数で、幡多の

医療を守って頑張っている当院の先生方を皆さんもどうか応援していただきたいと思います。

さて幡多けんみん病院は平成十一年四月の開院ですので、はやいもので、今年十年目を迎えました。様々なことがありましたが地域の皆さんに暖かく育てていただき、幡多地域の医療を守るべく頑張ってきました。

これからも地域の他の医療機関と連携をとりながら、この地域の医療をよりよいものに行きたいと思っています。これまでと同様にご支援をよろしくお願いいたします。



a p r o f e s s i o n スタッフ特別企画

CC委員会

当院で働く『専門職』スタッフを紹介しているこのコーナー。今月は、特別企画として、この春から当院に新しく仲間入りをしてくれた、初々しい『専門職』三名を紹介したいと思います。

【質問事項】

- Q1 現在の職種を選んだ理由
- Q2 当院の第一印象
- Q3 好きな言葉
- Q4 今後の抱負（メッセージ）



東5階病棟 看護師
濱田 詩穂里 さん

A1 人と関わる仕事、何か少しでも役に立てるような仕事を

したいと思ったからです。
A2 すごくきれいで、広いなあと思いました。スタッフの方々が笑顔で働いていることが印象的でした！
A3 『笑う門には福来る』
『成せば成る』
A4 頑張りますので、よろしくお願いします！



手術室 看護師
濱田 健二 さん

A1 七年程前、父の他界を経験した時、何とか母の最期の時は自分自身が一番近くで看取ってあげたいと感じ、周囲の反対を押し切って六年間勤めた自動車会社を退社、看護学校へ入学し、看護師になりました。
A2 研修医の受け入れや新人看護師への教育・指導などの人材育成に対してしっかり取り組んでいるなあと感じました。
A3 『知識とは武器である』

以前、ある人に言われた事が今でも印象に残っています。
A4 今後も様々なことに挑戦し、頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願いします。



臨床検査科 検査技師
竹内 まりえ さん

A1 最初はただ医療資格を生かした職種に就きたいという漠然とした思いでしたが、段々と未知の部分が多いこの臨床検査分野への探究心が生まれ、“人の身体の本質”を入口として、様々な角度から捉えることのできる検査技師を目標とし、更なる知識を身につけたいと、今ではそう思っています。
A2 学生時代に実習に來させていただいた際の印象ですが、まず病院スタッフが優しいという点。そして、先輩スタッフの勉強意欲に驚いたということ。ここには見習わなければ

ならない先輩スタッフが沢山おり、ご指導に恵まれたと実感しました。

A3 『知識は財産である』
知識を持つ、持たないで、あることに気付くのか、あるいはどう反応するのか、それによって次に起こる行動の質が決まってきます。次の瞬間に良い影響を与えられる人となれるよう、成長していきたいと思っています。
A4 このたび、病理検査を担当することになりました。まだまだ微力な私ですが、力を尽くし努力をしていく所存ですので、ご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願ひします。

新しい環境で戸惑うことも多く、今はまだ慣れることに精一杯の状態かもしれませんが、いつか、『幅多けんみんな病院って、働きやすい』と感じてもらえたらいいなあと思っています。
ようこそ幅多けんみんな病院へ！素敵な『専門職』を目指して、頑張ってください。



からだにやさしい食生活

栄養科

春になるにつれて、暖かい日が多くなってきました。汗ばむほどの陽気の時もありますが、一日の中で気温差が激しいために体調も崩し易い時です。

春から夏は冷たいデザートが美味しい季節です。この頃になると、店頭でもよくみかけます。デザートは手作りすると手間がかかるというイメージがありますが、今回はお家でも時間がかからず簡単に作れる、デザートを二品紹介します。

「ヨーグルトココアバナナ」

☆材料☆(2人分)

・バナナ(小) 1本

《調味料》

オレンジリキニール 少々

砂糖 小さじ1

レモン汁 小さじ1

・ココアパウダー 大さじ1

・砂糖 大さじ1強

・プレーンヨーグルト 150g

☆つくり方☆

①バナナは角切りにし、Aの

材料をかけて冷やしておく。

②ボウルにココアパウダー、砂糖をふるい入れてよく混ぜヨーグルトを加えて泡立て器でなめらかに混ぜる。

③器に②を入れ、①をのせる。あればミントの葉をのせる。

「レンジわらびもち」

☆材料☆(2人分)

・わらび粉 大さじ3

・砂糖 大さじ5

・きな粉 適量

☆つくり方☆

①耐熱ボウルにわらび粉、砂糖を入れて混ぜ、水カップ4分の3を少しずつ加えながら泡立て器で混ぜる。

②電子レンジ(600W)に1分間かけ、取り出して泡立て器で混ぜる。これをあと3回繰り返す。

③ごむべらで一つの塊にまとめ、氷水にとる。一口大にちぎり、そのまま冷やす。

④ざるにあげて水けを切り、きな粉をまぶす。

☆二品ともよく冷やして食べる
と美味しい、これからの季節
にぴったりのデザートです。

LUNCH★BOX



今月は、不規則勤務にも関わらず手作りしている看護師さんのお弁当を紹介します。

メニューは、豚ともやしとニラ炒め、ゆで卵、ウインナー、スナックエンドウ、トマトと真っ白なご飯に梅干、色とりどりで、彼女を表わすように小さくかわいなお弁当です。

以前、彼女が「お弁当に必ず苦手なものを一つ入れて、でも〈いただきます〉〈ごちそうさま〉を言って食べるんです。苦手なものから逃げないように・・・」と言ったのを聞いて、今回の依頼をしました。小さな事かもしれないけれど、苦手なものにも向き合う彼女の姿勢がとても素敵だと思いました。

実は、今回のこのお弁当は「撮影が終ったら食べてもらおう」と思って」と、お弁当は作ら

なくてもいい日にも関わらず、私のために作ってきてくれました。心のこもったお弁当は、やさしくて、あたたかくて、美味しくて、なにより元気をもらえるお弁当でした。

色とりどりのお弁当を食べながら、彼女の可愛らしさやあたたかさ、そしてそのなかにある「凛」としたものを感じました。食べる人のことを思って作る。お弁当は誰かを元気にさせる「魔法の箱」みたいだと思います。蓋を開けると元気になるそんな素敵なお弁当はLUNCH BOXでした。



病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの(薬剤情報提供書・お薬手帳など)**を持って行くようにしましょう！

私たちの目指す医療(基本方針)

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

やさしい色

編集スタッフ

暖かい晴れた日、久しぶりに自然を感じたくて出かけました。

日々、便利だけれど無機質なものに囲まれて時間に追われていくつめたい心に、草や土、木の匂い、川の水の冷たさ、木陰のひんやりとした空気、日向のあたたかい風はとて優しくあたたかく感じました。幼い頃は家の近所でよく見かけた蓮華草が緑の絨毯の上に小さな可愛い花をたくさんつけていました。蓮華草の花言葉は「私の苦しみをやわらげる」です。ほんとうにその言葉どおり優しい花です。

他にも緑・紫・黄色・赤たくさんのお色が自然の中にはありました。日々の生活の中にも色はたくさんあります。でも、その色は創られた色で、そこにはあたたかさや優しさや匂いを感じることがなかなかできません。ずっと前、空に七色のきれいな虹が架かっていました。誰かに伝えたいほどにきれいな虹が

その日、「今日、虹を見て、ここにもこんなに鮮やかな色があつたんだなあ」と思ってしばらくぼーっと見てた」と言ったあの人の言葉に、あたたかくて優しいものを感じました。そしてなぜかその言葉が私の心をあたたく優しくしてくれました。自然の色は、人の心をあたたく優しくしてくれ、そして、それはほかの誰かの心もあたたく優しくしてくれる。心が少し疲れた時、自然の色はあたたく優しく包んでくれる。そんな気がします。時間をつくって自然を感じてみませんか。



病院に咲くツツジのやわらかなピンク色です

3月の統計

外来患者数	14,404人
新外来患者数	2,113人
紹介患者数	418人
新入院患者数	530人
退院患者数	511人
平均在院日数	16日
救急車・時間外患者数	1,329人
手術件数	213件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。